



平成24年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月29日

上場会社名 ケイティケイ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 3035 URL http://www.ktk.gr.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伊藤 主計  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)木村 裕史 (TEL)052-931-1881  
 四半期報告書提出予定日 平成24年3月30日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第3四半期の連結業績(平成23年5月21日～平成24年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第3四半期	6,321	△2.7	15	△65.9	12	△71.5	1	△87.4
23年5月期第3四半期	6,497	△3.7	46	△69.7	42	△70.6	14	△82.5

(注) 包括利益 24年8月期第3四半期 2百万円(—%) 23年5月期第3四半期 15百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第3四半期	0.51	—
23年5月期第3四半期	4.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第3四半期	4,188	2,027	48.4
23年5月期	4,250	2,064	48.6

(参考) 自己資本 24年8月期第3四半期 2,027百万円 23年5月期 2,064百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年8月期	—	4.00	—	—	—
24年8月期(予想)	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年5月21日～平成24年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第4四半期(累計)	8,885	2.2	89	81.9	82	86.1	37	101.4	10.42
通期	11,109	—	103	—	94	—	44	—	12.14

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 決算期の変更(5月20日を8月20日)に伴い、当期は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15か月の変則決算となります。このため通期の増減比率については、比較対象となる金額がありませんので開示しておりません。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社 ( )、除外 社 ( )
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年8月期3Q	3,675,000株	23年5月期	3,675,000株
24年8月期3Q	37,715株	23年5月期	37,715株
24年8月期3Q	3,637,285株	23年5月期3Q	3,637,362株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積の変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年5月21日～平成24年2月20日)のわが国経済は、東日本大震災及び原子力災害の影響により依然として厳しい状況にある中で、緩やかに持ち直しの動きは見られるものの、円高の長期化や欧州の債務危機を背景とした世界経済の減速により、先行き不透明な状態で推移いたしました。

このような中で、当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き企業のコスト削減意識は高く、景気の不透明感による消耗品の買い控えの影響もあり、厳しい状況が続いております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,321百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。営業利益は15百万円(同65.9%減)、経常利益は12百万円(同71.5%減)、四半期純利益は1百万円(同87.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (サブライ事業)

当社グループの主力商品であるリサイクル商品(リパクトナー)は、販売本数が前年同四半期比97.1%と前年を下回り、売上高も減少いたしました。

OAサブライ商品は、純正トナーカートリッジ並びに紙製品のPPC用紙及びオーダー用紙の販売量が落ち込み、売上高は減少いたしました。

その他においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の推進に伴い一般事務用品の販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は6,123百万円(前年同四半期比3.0%減)、セグメント損失(経常損失)は9百万円(前年同四半期連結累計期間は34百万円のセグメント利益(経常利益))となりました。

## (ソリューション事業)

動きはまだ弱いものの企業の情報関連投資は持ち直しつつあり、IT商品のセキュリティ関連商品、DR(ディザスタリカバリ)関連商品が好調で売上高が増加いたしました。

これらの結果、売上高は197百万円(前年同四半期比7.2%増)、セグメント利益(経常利益)は21百万円(同162.3%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、純資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ61百万円減少し、4,188百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ61百万円減少し、2,393百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品が40百万円増加し、現金及び預金が93百万円減少したこと等によります。固定資産は前連結会計年度末とほぼ同額の、1,794百万円となりました。これは主に投資その他の資産が40百万円増加し、有形固定資産が13百万円、無形固定資産が26百万円それぞれ減少したことによります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、2,008百万円となりました。これは、主に未払法人税等が28百万円減少したこと等によります。固定負債は前連結会計年度末に比べ12百万円増加し、152百万円となりました。これは、主に役員退職慰労引当金が8百万円増加したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、2,027百万円となりました。これは、主に利益剰余金が38百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、OA関連消耗品の使用量低下により、たいへん厳しい結果となりました。当連結会計年度におきましても、依然として当社グループを取り巻く経済環境は厳しい状態が続くものと予想されますが、引き続きリサイクル商品の拡販と当社独自のweb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の導入促進並びにFC(フランチャイズチェーン)の展開を推進し、収益の拡大に努めてまいります。

なお、今後の売上高等、業績予想に必要となる諸前提及び継続的に取り組んでいる施策効果については精査中であり、現時点では平成23年6月30日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

また、当社グループは平成23年8月10日開催の第40期定時株主総会決議により、決算期を毎年5月20日から毎年8月20日に変更いたしました。このため、当連結会計年度は平成23年5月21日から平成24年8月20日までの15か月間の変則決算となっております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計年度末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の変更)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実行税率は、一時差異等に係る解消時期に応じて以下のとおりとなります。

平成24年5月20日まで 40.4%

平成24年5月21日から平成27年8月20日 37.7%

平成27年8月21日以降 35.3%

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は5百万円増加し、法人税等調整額は5百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 5月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年 2月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	899,975	806,219
受取手形及び売掛金	1,288,509	1,258,766
有価証券	20,963	20,976
商品及び製品	144,144	150,868
仕掛品	1,470	2,320
原材料及び貯蔵品	43,148	83,824
その他	59,364	73,472
貸倒引当金	△2,531	△2,509
流動資産合計	2,455,045	2,393,937
固定資産		
有形固定資産		
土地	871,590	871,590
その他(純額)	418,083	404,189
有形固定資産合計	1,289,673	1,275,779
無形固定資産		
その他	132,219	105,352
無形固定資産合計	132,219	105,352
投資その他の資産		
その他	380,389	418,545
貸倒引当金	△7,225	△5,269
投資その他の資産合計	373,163	413,275
固定資産合計	1,795,056	1,794,408
資産合計	4,250,101	4,188,346
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	893,927	892,123
短期借入金	805,772	805,772
未払法人税等	30,103	1,596
賞与引当金	—	33,643
その他	316,156	275,599
流動負債合計	2,045,959	2,008,735
固定負債		
長期借入金	16,431	12,102
役員退職慰労引当金	54,493	63,329
その他	68,572	76,636
固定負債合計	139,496	152,067
負債合計	2,185,456	2,160,803

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 5 月20日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成24年 2 月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	259,675	259,675
利益剰余金	1,531,069	1,492,932
自己株式	△20,929	△20,929
株主資本合計	2,064,489	2,026,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	155	1,189
その他の包括利益累計額合計	155	1,189
純資産合計	2,064,645	2,027,543
負債純資産合計	4,250,101	4,188,346

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 5 月21 日 至 平成23年 2 月20 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21 日 至 平成24年 2 月20 日)
売上高	6,497,244	6,321,416
売上原価	4,833,210	4,706,181
売上総利益	1,664,033	1,615,234
販売費及び一般管理費	1,617,438	1,599,350
営業利益	46,595	15,884
営業外収益		
受取利息	215	161
受取配当金	937	1,022
受取家賃	1,099	2,565
受取手数料	552	635
その他	4,663	7,128
営業外収益合計	7,467	11,513
営業外費用		
支払利息	8,857	7,840
固定資産除却損	506	5,188
その他	2,235	2,264
営業外費用合計	11,599	15,293
経常利益	42,463	12,104
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,091	—
保険解約益	708	—
特別利益合計	1,799	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,659	—
投資有価証券評価損	—	264
特別損失合計	1,659	264
税金等調整前四半期純利益	42,603	11,840
法人税、住民税及び事業税	13,366	6,093
法人税等調整額	14,341	3,873
法人税等合計	27,707	9,966
少数株主損益調整前四半期純利益	14,895	1,873
四半期純利益	14,895	1,873

四半期連結包括利益計算書  
第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 5 月21日 至 平成23年 2 月20日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 5 月21日 至 平成24年 2 月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,895	1,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	326	1,034
その他の包括利益合計	326	1,034
四半期包括利益	15,222	2,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,222	2,908
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第 3 四半期連結累計期間(自 平成22年 5 月21日 至 平成23年 2 月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	サプライ事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,312,925	184,319	6,497,244	—	6,497,244
セグメント間の内部売上 又は振替高	216	1,520	1,736	△1,736	—
計	6,313,141	185,839	6,498,980	△1,736	6,497,244
セグメント利益	34,425	8,179	42,604	△141	42,463

(注) 1 セグメント利益の調整額は、全額セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

II 当第 3 四半期連結累計期間(自 平成23年 5 月21日 至 平成24年 2 月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,123,745	197,671	6,321,416	—	6,321,416
セグメント間の内部売上 又は振替高	—	454	454	△454	—
計	6,123,745	198,125	6,321,871	△454	6,321,416
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△9,345	21,450	12,104	—	12,104

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。